

令和5年度 松阪地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

No		所属及び名前	新・継
1	学識経験者	三重大学 地域イノベーション学研究科 准教授 水木 千春	継続
2	地域有識者	松阪商工会議所 事務局次長 井村 彰	継続
3		多気町商工会 事務局長 堀江 勝昭	継続
4		大台町商工会 事務局長 築地 義雄	新
5	市町教育委員会教育長	松阪市教育委員会 教育長 中田 雅喜	継続
6		多気町教育委員会 教育長 小林 真一	継続
7		明和町教育委員会 教育長 下村 良次	継続
8		大台町教育委員会 教育長 森 享	継続
9	県立高等学校長代表	県立松阪高等学校 校長 森山 隆弘	継続
10	小中学校長代表	松阪市立殿町中学校 校長 青木 俊幸	継続
11	小中学校PTA代表	松阪市PTA連合会 代表 鈴木 寛子	継続
12		多気郡PTA連合会 代表 小阪 晴紀	新
13	高等学校PTA代表	松阪地区高等学校PTA連合会 代表 清水 竜也	継続
14	小中学校教職員代表	松阪市立東部中学校 教諭 山際 健太郎	新
15	高等学校教職員代表	県立松阪工業高等学校 教諭 富田 守	継続

松阪地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、松阪地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、松阪地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の松阪地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 松阪地域の県立高等学校活性化の方策に関する事
- (3) 施設・設備に関する事
- (4) その他検討を要する事

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は令和5年 1月18日から施行する。

令和 4 年度第 1 回松阪地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 令和 5 年 3 月 1 5 日（火）18 時 30 分から 20 時 40 分まで

2 場所 松阪庁舎 大会議室

3 概要

令和 4 年 3 月策定の「県立高等学校活性化計画」や、令和 3 年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する 15 年先までの中学校卒業者の減少等の状況をふまえ、以下の 2 点について協議しました。

- ①松阪地域において 15 年先に求められる（実現したい）学びや高校のあり方
- ②今後、協議を深めていくための協議会の進め方や必要な視点など

<主な意見>

（松阪地域において 15 年先に求められる（実現したい）学びや、高校のあり方について）

- 地域の少子化や教育的ニーズの多様化が進む中、小学校から高校までの一貫した学びで子どもたちを育むことを意識しながら、松阪地域全体を見通したこれからの高校の学びと配置のあり方を協議していくことが大切である。
- 15 年前と比べ、生徒数は減っているものの、不登校傾向にある生徒や発達に課題がある生徒、外国につながりを持つ生徒の割合が増えてきており、15 年先を見据え、高校において求められる学びを検討する際には、これらの課題に柔軟に対応していくことが大切である。
- 15 年先までに松阪地域で県立高校が 10 学級程度も減少するのであれば、現在地域にある専門学科の統廃合も検討していく必要がある。
- 地域の小中高が連携することに加え、家庭・地域が一緒になって教育活動に取り組むことが、将来の松阪地域を担う子どもたちの育成につながっていく。
- 生徒が減少していく中であっても、この地域で学び就職する人が増えるよう、高校での学びの選択肢をできるかぎり多く維持するとともに、より実践的なキャリア教育に取り組んでもらいたい。
- 松阪地域は、多様な学科や特色ある学びを持つ県立高校に加え、魅力ある私立高校があるなど、高校選択に関して恵まれた環境にある。地域の生徒が地域の高校へ進学するためには、多様な学科の維持や高校の魅力化が必要である。

- 高校魅力化の重要な要素でもある部活動の活性化という視点から考えると、高校には一定規模が必要である。
- 地域と連携した学びやICTを活用した学習などを取り入れながら、学校の活性化や魅力ある学校づくりにつなげてもらいたい。
- 県外からの入学生が増加している昴学園高校の事例から考えると、県外から三重に来てもらい、三重で活躍できる人材を育てるという考え方もあるのではないかな。

(今後、協議を深めていくための協議会の進め方や必要な視点などについて)

- 15年先を見据えた高校の学びと配置のあり方を検討していく際には、変化の激しい時代における子どもたちの進路実現のため、これまでの価値観だけで考えるのではなく、子どもたちを軸にした教育課程の改革などについて議論していく必要がある。
- 高校配置のあり方を考えるにあたっては、各学校の学びの内容や特色、地域における様々な教育活動等を共有しながら協議を進めてはどうか。
- 松阪地域における過去の高校統合の事例をはじめ、今年度他地域の協議会で検討された統合や募集停止に関する意思決定の過程、及び学びの保障の方向性等を参考にしながら、協議を進めるのがよいのではないかな。
- 学校の小規模化が進むと教員数が少なくなるため、生徒の幅広い学びの選択肢を確保することが難しくなる。協議会では教員定数や教育予算なども考慮しながら、高校配置のあり方について協議を進めていきたい。
- 地域から高校がなくなることは、地域の人々にとって大きな出来事である。15年先の生徒減の現実を受け止め、協議会でしっかり議論していく必要がある。
- 中学生や保護者の意見をアンケート調査で聞いてはどうか。その際、保護者の中でも様々な意見があるため、質問内容だけでなく世代別などに集計するなどの工夫も考えられる。子どもたちの思いを取り入れながら協議会の議論を進めていきたい。
- 専門学科の高校では資格取得も含めた専門教育を進めているが、その中で生徒たちが何に魅力を感じ、興味を持ったのかなどを把握したうえで高校の学びについて検討していきたい。
- 明和町は松阪市と伊勢市の間位置しており、松阪市内だけでなく伊勢志摩地域への進学も多い。明和町内にも高校があれば小中高一貫した教育にも取り組みやすくなる。

- 大台町からは通学に時間はかかるものの、松阪地域において幅広く高校を選択することができる。この教育環境が維持できるよう議論を進めていきたい。
- 生徒数が減少する中、地域の高校へ進学する生徒を確保することが大事であり、そのためには高校側もより積極的な情報発信が必要である。
- この地域の豊かな学びを保障するために、統合ありきではなく、幅広い視野を持って協議を進めていきたい。

4 今後の進め方

15 年先の当地域における県立高校の学びと配置のあり方については、各県立高校の学びの内容・特色やそれらを取り巻く状況、今後の地域の少子化の進行などについて情報を共有するとともに、生徒・保護者へのアンケート調査を実施するなど、地域の実情をふまえながら検討を加え、協議を進めます。その過程にある令和8年度と令和11年度の生徒減への対応についても、こうした議論をふまえ、具体の対応を協議します。

松阪地域の全日制県立高等学校の入学者選抜の状況（令和5年度・現高1）

資料2①

学校名	学科・コース	入学定員	R4.12時点の進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			追検査・再募集			入学者数	欠員		
			定員との差	合格内定者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数	合格内定者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数			募集定員	志願者数
松 阪	普通	240	205 ▲35	-	-	240	189	0.79	240	189	0.79	240	-	-	1	241	(1)
	理数	80	216 136	41	5.43	39	155	3.97	39	155	3.97	39	-	1	-	80	0
	学校計	320	421 101	41	5.43	279	344	1.23	279	344	1.23	279	0	1	1	321	(1)
松阪工業	機械	40	49 9	22	2.35	18	19	1.06	18	19	1.06	18	-	-	-	40	0
	電気工学	40	48 8	22	2.25	18	21	1.17	18	21	1.17	18	-	-	-	40	0
	工業化学	40	24 ▲16	22	1.35	18	13	0.72	16	13	0.72	16	2	1	1	39	1
	繊維デザイン	40	59 19	40	1.48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	0
	自動車	40	56 16	22	2.65	18	19	1.06	18	19	1.06	18	-	-	-	40	0
	学校計	200	236 36	128	1.93	72	72	1.00	70	72	1.00	70	2	1	1	199	1
松阪商業	総合ビジネス科	120	112 ▲8	66	1.83	54	54	1.00	53	54	1.00	53	1	2	2	121	(1)
	国際ビジネス科	40	25 ▲15	22	1.20	18	9	0.50	9	9	0.50	9	9	3	3	34	6
	学校計	160	137 ▲23	88	1.68	72	63	0.88	62	72	0.88	62	10	5	5	155	5
飯 南	総合学科	80	53 ▲27	53	1.03	40	27	0.52	14	14	0.52	14	13	3	3	70	10
	学校計	80	53 ▲27	53	1.03	40	27	0.52	14	14	0.52	14	13	3	3	70	10
相 可	普通	80	78 ▲2	27	3.21	53	53	1.00	53	53	1.00	53	-	-	-	80	0
	生産経済	40	53 13	22	2.60	18	25	1.39	18	25	1.39	18	-	1	1	41	(1)
	環境創造	40	43 3	22	2.10	18	18	1.00	18	18	1.00	18	-	-	-	40	0
	食物調理	40	52 12	40	1.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	0
	学校計	200	226 26	111	2.14	89	96	1.08	89	96	1.08	89	0	1	1	201	(1)
昇学園	総合学科	80	47 ▲33	80	1.13	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	80	0
	学校計	80	47 ▲33	80	1.13	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	80	0
松阪地域（全日制）計		1,040	1,120 80	501	2.07	539	589	1.09	514	589	1.09	514	25	11	11	1,026	14

松阪地域の全日制県立高等学校の入学者選抜の状況（令和4年度・現高2）

資料2②

学校名	学科・コース	入学定員	R3.12時点の進学希望者数		前期選抜等			後期選抜			追検査・再募集			入学者数	欠員
			定員との差	進学者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集定員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員		
松 阪	普通	200	151	▲49	-	-	-	200	148	0.74	200	-	-	200	0
	理数	80	180	100	40	4.38	40	40	120	3.00	40	-	-	80	0
	学校計	280	331	51	40	4.38	40	240	268	1.12	240	0	0	280	0
松阪工業	機械	40	43	3	20	2.10	22	18	20	1.11	18	-	1	41	(1)
	電気工学	40	39	▲1	20	1.95	22	18	20	1.11	18	-	1	41	(1)
	工業化学	40	35	▲5	20	1.70	22	18	13	0.72	14	4	1	37	3
	繊維デザイン	40	50	10	40	1.25	40	-	-	-	-	-	-	40	0
	自動車	40	33	▲7	20	1.70	22	18	10	0.56	9	9	2	33	7
学校計	200	200	0	120	1.66	128	72	63	0.88	59	13	5	5	192	8
松阪商業	総合ビジネス科	120	118	▲2	60	1.90	66	54	57	1.06	54	-	-	120	0
	国際ビジネス科	40	25	▲15	20	1.15	22	20	16	0.80	18	2	3	41	(1)
	学校計	160	143	▲17	80	1.71	88	74	73	0.99	72	2	3	161	(1)
飯 南	総合学科	80	81	1	40	1.60	61	19	19	1.00	18	1	0	79	1
	学校計	80	81	1	40	1.03	61	19	19	1.00	18	1	0	79	1
相 可	普通	80	79	▲1	24	3.08	27	53	55	1.04	53	-	-	80	0
	生産経済	40	35	▲5	20	1.75	22	18	15	0.83	16	2	1	39	1
	環境創造	40	44	4	20	2.20	22	18	22	1.22	18	-	-	40	0
	食物調理	40	28	▲12	40	0.78	29	-	-	-	-	11	1	30	10
	学校計	200	186	▲14	104	1.77	100	89	92	1.03	87	13	2	2	189
昇学園	総合学科	80	58	▲22	80	0.94	71	-	-	-	-	9	1	72	8
	学校計	80	58	▲22	80	0.94	71	-	-	-	-	9	1	72	8
松阪地域（全日制）計		1,000	999	▲1	464	1.83	488	494	515	1.04	476	38	11	973	27

松阪地域の中学校卒業生進学先の推移

資料3

松阪地域(1市3町)の状況

	卒業年度	卒業者数	松阪地域県立						37.0%	松阪地域私立		松阪地域外				その他		
			松阪	松工	松商	飯南	相可	昂		三重	伊勢志摩地域県立高	津地域県立高	県内私立高、高専	他	定時制	通信制	他	
1市3町の合計	4年度	1,934	239	150	107	68	135	17	37.0%	354	18.3%	168	235	231	46	47	107	30
	3年度	1,844	209	137	104	79	125	22	36.7%	362	19.6%	155	241	213	39	40	97	21
	2年度	1,801	198	152	104	77	120	15	37.0%	366	20.3%	142	235	188	42	55	81	26
	元年度	1,924	237	164	77	75	125	17	36.1%	431	22.4%	160	229	194	42	48	82	43

市町別の状況

	卒業年度	卒業者数	松阪地域県立						36.4%	松阪地域私立		松阪地域外				その他		
			松阪	松工	松商	飯南	相可	昂		三重	伊勢志摩地域県立高	津地域県立高	県内私立高、高専	他	定時制	通信制	他	
松阪市	4年度	1,457	179	127	77	57	84	6	36.4%	290	19.9%	73	223	149	35	41	92	24
	3年度	1,386	156	114	73	63	70	4	34.6%	309	22.3%	65	225	143	30	36	82	16
	2年度	1,390	152	125	73	62	80	4	35.7%	318	22.9%	66	216	136	29	47	68	14
	元年度	1,483	187	138	52	61	66	5	34.3%	371	25.0%	71	213	142	37	38	69	33
多気町	4年度	199	22	5	18	11	37	2	47.7%	28	14.1%	25	2	29	7	2	10	1
	3年度	183	18	4	16	16	37	2	50.8%	21	11.5%	24	7	22	6	2	6	2
	2年度	163	28	7	12	15	29	2	57.1%	15	9.2%	19	6	11	5	3	7	4
	元年度	165	19	4	2	14	37	2	47.3%	28	17.0%	22	3	20	1	1	7	5
明和町	4年度	218	28	13	8	0	4	1	24.8%	24	11.0%	67	10	48	2	4	5	4
	3年度	195	22	13	13	0	6	1	28.2%	20	10.3%	59	8	39	3	2	9	0
	2年度	188	9	17	17	0	2	1	24.5%	23	12.2%	54	12	35	3	5	5	5
	元年度	204	20	21	18	0	8	0	32.8%	14	6.9%	59	12	29	4	9	6	4
大台町	4年度	60	10	5	4	0	10	8	61.7%	12	20.0%	3	0	5	2	0	0	1
	3年度	80	13	6	2	0	12	15	60.0%	12	15.0%	7	1	9	0	0	0	3
	2年度	60	9	3	2	0	9	8	51.7%	10	16.7%	3	1	6	5	0	1	3
	元年度	72	11	1	5	0	14	10	56.9%	18	25.0%	8	1	3	0	0	0	1

令和5年度の協議について

1 はじめに

少子化の進行とともに、予測困難なほど社会情勢が大きく変化する中、子どもたちを取り巻く教育的課題はより複雑化・多様化し、さらにコロナ禍により学校のあり方や教育そのものの意義も問われています。このような状況の中、これからの時代を生きていく高校生に育みたい力や、本県の県立高等学校で進めていく教育など、これからの三重の県立高校の教育のあり方を示す「県立高等学校活性化計画（令和4年3月）」【別冊資料】を策定しました。

2 協議の進め方

「県立高等学校活性化計画」に基づき、令和4年度に松阪地域における協議会として、「松阪地域高等学校活性化推進協議会」を設置しました。当協議会においては、令和4年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえ、松阪地域における県立高等学校の学びと配置のあり方について、具体的な対応もあわせて検討を進めます。その中で1学年3学級以下の高等学校については統合についての協議も行います。こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めていきます。

今年度の協議会では、令和4年度の協議会に引き続き、地域の県立高等学校の現状と取り巻く状況、今後の地域の少子化の進行、昨年度の協議会で要望があった松阪地域の県立高等学校の特色などについての情報を共有し、令和11年度までに当地域の1学年あたりの総学級数が、令和6年度の25学級から5学級程度減少することが見込まれる状況もふまえ、松阪地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について協議します。

3 今後の協議会開催スケジュール

(1) 第1回協議会（本日8月23日）

- ・松阪地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・これからの松阪地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について①

(2) 第2回協議会（令和6年2月頃）

- ・これからの松阪地域の県立高等学校の学びと配置のあり方について②
- ・来年度の協議会に向けて

松阪地域 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

令和5年5月1日 教育政策課調べ

	R 2.3 卒業	R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 現中3	R 7.3 現中2	R 8.3 現中1	R 9.3 現小6	R 10.3 現小5	R 11.3 現小4	R 12.3 現小3	R 13.3 現小2	R 14.3 現小1
松阪市	1,483	1,390	1,386	1,457	1,464	1,439	1,386	1,437	1,330	1,240	1,219	1,263	1,219
		-93	-4	71	7	-25	-53	51	-107	-90	-21	44	-44
					7	-18	-71	-20	-127	-217	-238	-194	-238
多気郡	441	411	458	477	390	433	422	363	417	341	403	366	381
		-30	47	19	-87	43	-11	-59	54	-76	62	-37	15
					-87	-44	-55	-114	-60	-136	-74	-111	-96
小計	1,924	1,801	1,844	1,934	1,854	1,872	1,808	1,800	1,747	1,581	1,622	1,629	1,600
		-123	43	90	-80	18	-64	-8	-53	-166	41	7	-29
					-80	-62	-126	-134	-187	-353	-312	-305	-334
県内合計	16,489	15,777	16,244	16,055	15,893	15,669	15,463	15,253	14,747	14,408	14,045	14,001	13,487
		-712	467	-189	-162	-224	-206	-210	-506	-339	-363	-44	-514
					-162	-386	-592	-802	-1,308	-1,647	-2,010	-2,054	-2,568

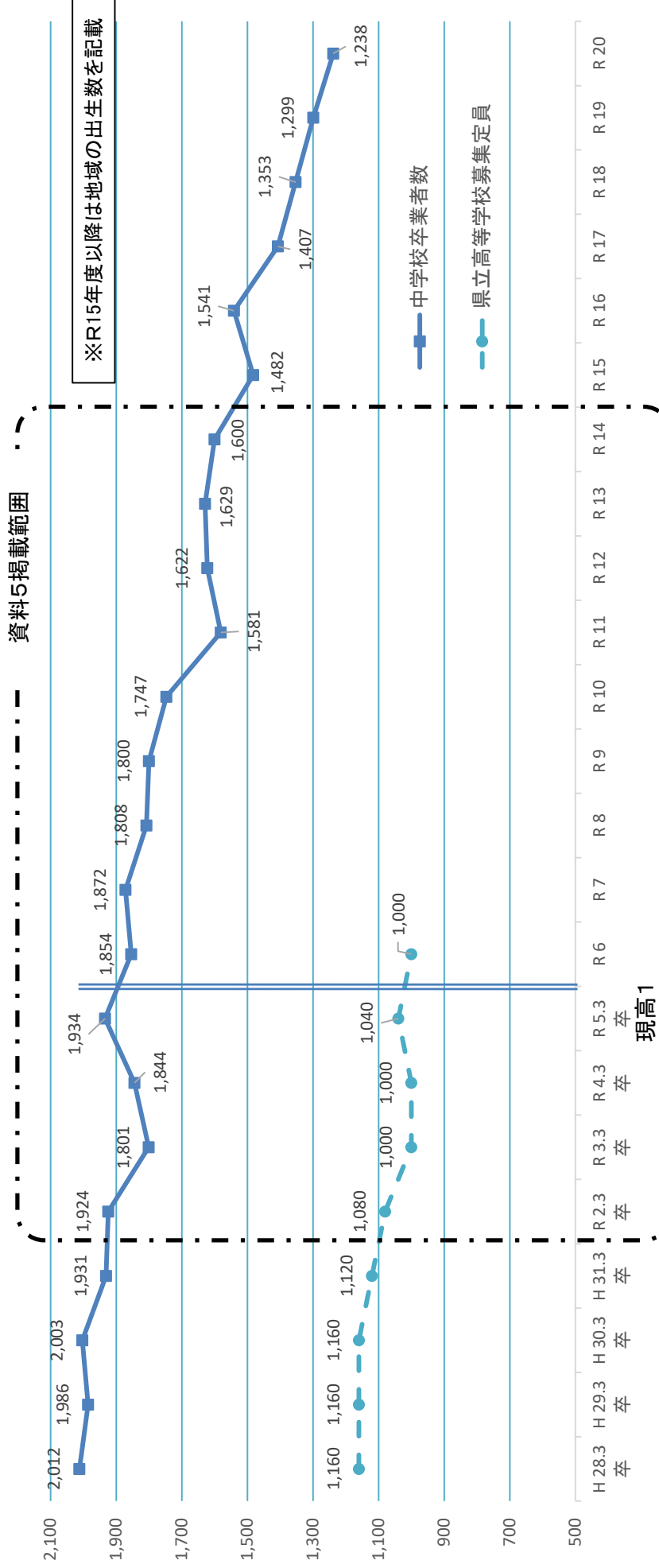
松阪地域高校 (県立全日)	募集定員 (学級数)	1,080 (27)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,040 (26)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,000 (25)	1,000 (25)
	欠員※	79	29	30	17	30	30	30	30	30	30	30	30
県内 (県立全日)	募集定員 (学級数)	11,400 (285)	10,760 (271)	10,880 (274)	10,640 (268)	10,880 (274)	10,640 (268)	10,640 (268)	10,640 (268)	10,640 (268)	10,640 (268)	10,640 (268)	10,640 (268)
	欠員※	343	325	334	342	334	342	342	342	342	342	342	342

※欠員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

三重	募集	530	540	535	530
	入学者数	624	584	563	-

松阪地域の中学校卒業業者数(予測)と県立高等学校募集定員

資料6

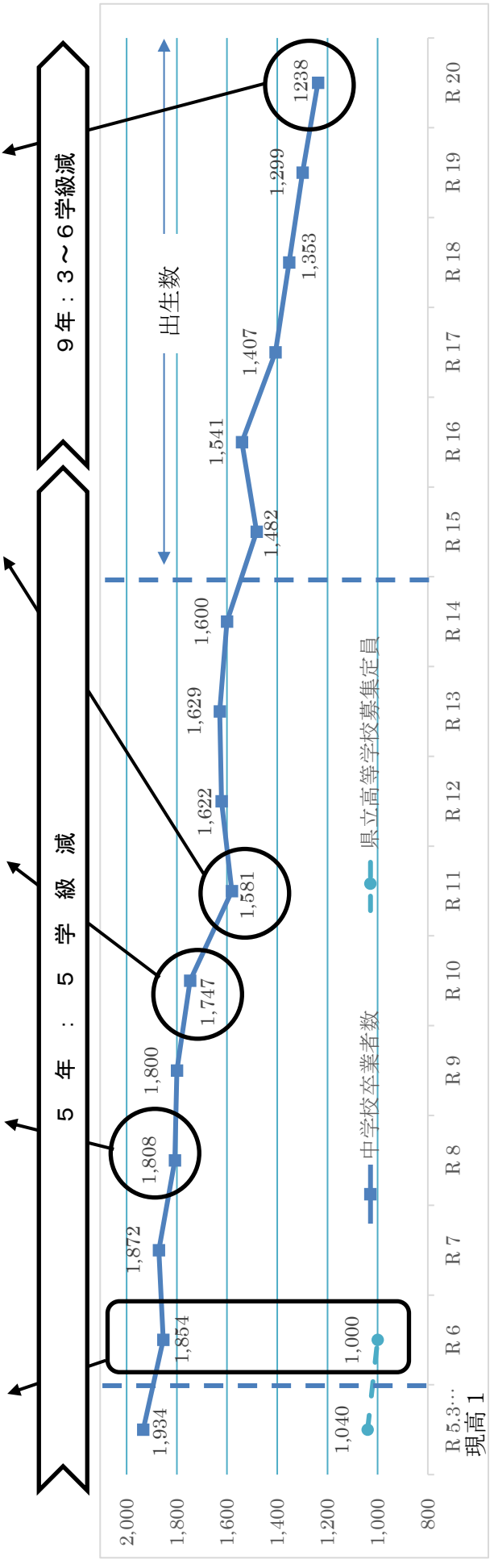
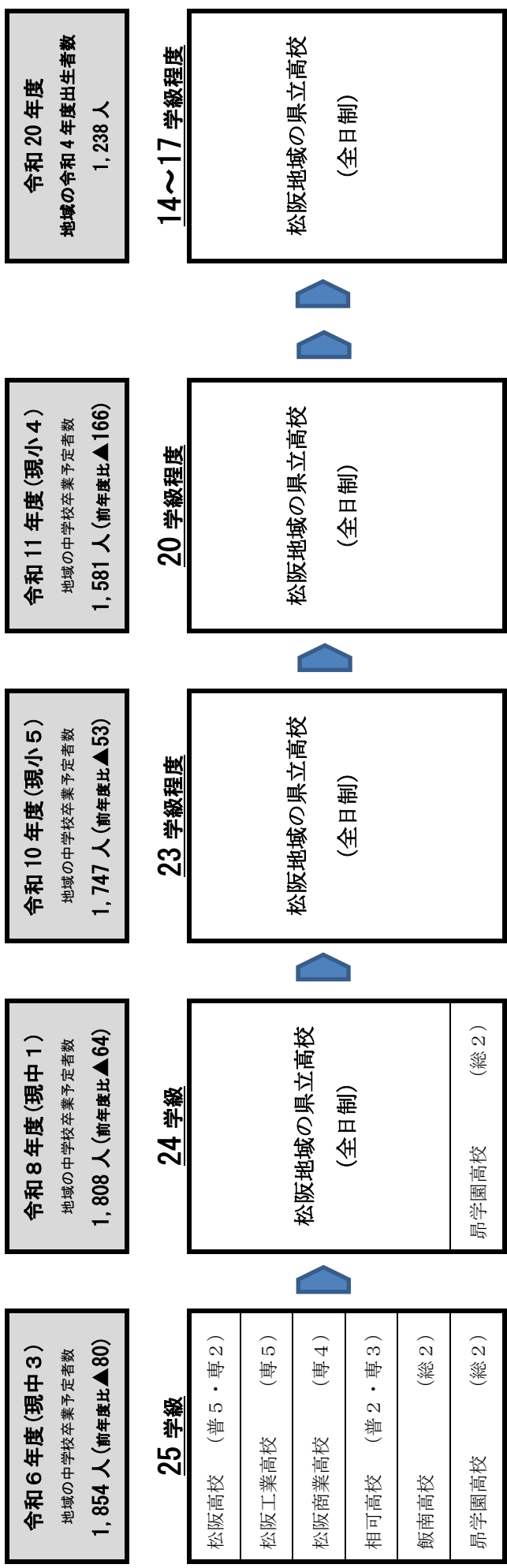


松阪地域の出生数

	H29年度出生 5~6才	H30年度出生 4~5才	R1年度出生 3~4才	R2年度出生 2~3才	R3年度出生 1~2才	R4年度出生 0~1才
松阪市	1,159	1,225	1,115	1,089	1,018	979
多気郡	323	316	292	264	281	259
合計	1,482	1,541	1,407	1,353	1,299	1,238

資料 7

令和20年度までの松阪地域の全日制県立高等学校の総学級数について



全日制県立高等学校の設置学科と学級数の推移(松阪地域)

資料 8

学校名	学科名	学級数																																			
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6
松阪	普通	8	8	8	9	9	9	9	9	9	#	#	9	8	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	5	
	理 理数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	家 家政																																				
	家 被服																																				
	家 生活科学	2	2	2	1	1	1	1	1	1																											
	計	11	11	11	11	11	11	11	11	10	11	11	10	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	8	7		
松阪工業	機械	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	
	工業化学	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	繊維工学	1	1																																		
	繊維デザイン			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	自動車	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	電気工学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		計	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	
松阪商業	商業	7	5	4																																	
	国際経済				3	4	3	3	3	3	2	2	2	2																							
	国際情報	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3																							
	情報ビジネス														4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2				
	情報システム														1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	総合ビジネス																																		3	3	3
	国際ビジネス																																	1	1	1	
	国 国際教養	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	計	9	9	8	7	9	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4		
飯南	普通	3	3	3	3	3	3	3	3	3																											
	総合学科										3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
相可	普通	4	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	
	農業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																									
	生産経済													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	農業土木	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1															
	環境創造																						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	家庭 家政	2	2	2	1	1																															
家庭 食物調理						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	計	8	8	7	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	
宮川	普通	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	情報・ビジネスコース									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
昴学園 H7.4萩原より 校名変更	普通	1	1	1	1	1																															
	農業 土木	1	1	1	1	1																															
	農業 総合技術						1																														
	総合学科							2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	計	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	学級数の計	44	44	42	40	43	40	40	40	38	40	40	38	36	35	34	34	33	31	31	31	31	30	30	30	30	30	29	29	29	29	28	27	25	25	26	25

普通科、専門学科、総合学科別の学級数の推移(松阪地域)

学科	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	
普通科	19	19	18	19	20	18	18	18	18	19	16	15	14	14	14	14	13	12	12	12	12	10	10	10	10	10	9	9	9	9	8	8	7	7	8	7	
農業科	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
工業科	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	
商業科	7	7	6	5	7	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	
家庭科	4	4	4	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
その他	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
総合学科							2	2	2	2	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	学級数の計	44	44	42	40	43	40	40	40	38	40	40	38	36	35	34	34	33	31	31	31	31	30	30	30	30	30	29	29	29	29	28	27	25	25	26	25

松阪地域の全日制高等学校の学科・コースについて(令和6年度)

資料9

学校名		募集定員(R6)	学科								
県立	松阪高校	280	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科	全25学級 普通科9 専門学科12 (工業5) (商業4) (農業2) (家庭1) 総合学科4 松阪地域中学校 卒業生数 R6.3卒予測 1,854人	
県立	松阪工業高校	200	工業化学科	機械科	繊維デザイン科	自動車科	電気工学科				
県立	松阪商業高校	160	総合ビジネス科	総合ビジネス科	総合ビジネス科	国際ビジネス科					
県立	飯南高校	80	郷土・環境、介護福祉 総合進学、コンピュータ								
県立	相可高校	200	普通科	普通科	生産経済科	環境創造科	食物調理科				
県立	昂学園高校	80	国際交流、総合スポーツ 美術工芸、生活福祉、環境技術								
私立	三重高校	530	530	普通科(進学コース、特進コース、六年制) : 530人							
松阪地域全日制課程											

- 定時制課程 松阪工業高校 普通科 40人
- 通信制課程 松阪高校 普通科 200人

【参考】伊賀地域全日制課程

学校名		募集定員(R6)	学科								
県立	上野高校	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理数科	全25学級 普通科12 専門学科6 (工業※3) (商業※1) (農業※2) (福祉※1) 総合学科7 伊賀地域中学校 卒業生数 R6.3卒予測 1,421人	
県立	伊賀白鳳高校	240	機械科(35)、電子機械(35)、建築デザイン(35)、生物資源(35)、 フードシステム(35)、経営(30)、ヒューマンサービス(35)								
県立	あけぼの学園高校	80	製菓調理、美容服飾 情報教養、健康福祉								
県立	名張青峰高校	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	文理探究 コース		
県立	名張高校	200	文理アドバンス、総合ビジネス、健康スポーツ、表現デザイン								
私立	桜丘高校	155	155	普通科 : 155人							
※伊賀白鳳高校は240人定員、7学級											

松阪地域の全日制県立高校卒業生の進路状況(令和5年3月卒)

資料10

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
松阪高校	普通 理数	294	4	2	1	18	319
		92.2%	1.3%	0.6%	0.3%	5.6%	100.0%
松阪工業高校	工業	21	16	31	155	1	224
		9.4%	7.1%	13.8%	69.2%	0.4%	100.0%
松阪商業高校	商業 国際	41	5	35	56	2	139
		29.5%	3.6%	25.2%	40.3%	1.4%	100.0%
飯南高校	総合	5	6	18	40	4	73
		6.8%	8.2%	24.7%	54.8%	5.5%	100.0%
相可高校	普通	34	4	22	7	0	67
		50.7%	6.0%	32.8%	10.4%	0.0%	100.0%
	農業 家庭	12	3	18	72	0	105
		11.4%	2.9%	17.1%	68.6%	0.0%	100.0%
昴学園高校	総合	8	5	13	21	0	47
		17.0%	10.6%	27.7%	44.7%	0.0%	100.0%

普通科計 (理数科含む)	328	8	24	8	18	386
	85.0%	2.1%	6.2%	2.1%	4.7%	100.0%
専門学科計	74	24	84	283	3	468
	15.8%	5.1%	17.9%	60.5%	0.6%	100.0%
総合学科計	13	11	31	61	4	120
	10.8%	9.2%	25.8%	50.8%	3.3%	100.0%
合計	415	43	139	352	25	974
	42.6%	4.4%	14.3%	36.1%	2.6%	100.0%

※上段は人数、下段は卒業生数に対する割合を表す

※「四年制大学」は大学校を含む

※「短大」は高専を含む

※「その他」は進学待機を含む

松阪地域の県立高校卒業生(全日制)の進路状況(令和4年3月卒)

学校名	学科	四年制大学	短大	専門学校等	就職	その他	卒業生数
松阪高校	普通 理数	280	3	13	2	16	314
		89.2%	1.0%	4.1%	0.6%	5.1%	100.0%
松阪工業高校	工業	21	16	31	155	1	224
		9.4%	7.1%	13.8%	69.2%	0.4%	100.0%
松阪商業高校	商業 国際	60	13	53	68	3	197
		30.5%	6.6%	26.9%	34.5%	1.5%	100.0%
飯南高校	総合	6	1	25	45	2	79
		7.6%	1.3%	31.6%	57.0%	2.5%	100.0%
相可高校	普通	42	12	21	4	0	79
		53.2%	15.2%	26.6%	5.1%	0.0%	100.0%
	農業 家庭	10	6	14	84	2	116
		8.6%	5.2%	12.1%	72.4%	1.7%	100.0%
昴学園高校	総合	10	1	19	28	0	58
		17.2%	1.7%	32.8%	48.3%	0.0%	100.0%

普通科計 (理数科含む)	322	15	34	6	16	393
	81.9%	3.8%	8.7%	1.5%	4.1%	100.0%
専門学科計	91	35	98	307	6	537
	16.9%	6.5%	18.2%	57.2%	1.1%	100.0%
総合学科計	16	2	44	73	2	137
	11.7%	1.5%	32.1%	53.3%	1.5%	100.0%
合計	429	52	176	386	24	1,067
	40.2%	4.9%	16.5%	36.2%	2.2%	100.0%

令和5年度 松阪高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

○時代の変化に対応し社会に貢献できる人材を育み、生徒・保護者・地域から信頼される進学校

< 自主自律 >

校訓である「自主自律」の精神を持ち、自ら考え、自ら行動できる人を育てます。

< 知・徳・体 >

校章に象徴される「知・徳・体」の調和のとれた全人的な発達を図り、地域社会の中心的な担い手となる人を育てます。

< 高い志 >

心豊かな人間性に立脚した「志」を持ち、高い目標を掲げて意欲的に挑戦する人を育てます。

2 学校の特色（理数科2学級＋普通科6学級）

松阪市民から「南高(ナンコウ)」または「松高(マツコウ)」と呼ばれ、親しまれている歴史と伝統のある学校です。充実した学習指導と的確な進路指導のもとで自己実現に必要な力を養うことができ、「自主自律」の校訓のもと、学校行事や部活動にも一生懸命に取り組むことができる、文武両道の充実した学校です。

『松高力』で夢を現実に！！

【文部科学省 SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）指定校】

令和3年度から5年間、新たにⅢ期目のSSHの指定を受け、時代のニーズに対応した、「国際舞台で通用する課題探究能力育成プログラム」の開発を教育課程に位置付けて行っています。普通科・理数科の生徒全員を対象に「探究活動」を行い、生徒自らが設定したテーマをとことん追究する中で、一人ひとりが、高い志を持ち、さまざまな課題に対して自ら考え挑戦し、未来を切り拓くことができる力＝松高力を育成しています。新しい大学入試では「知識・技能」に加え、「思考力・判断力・表現力」が求められており、本校ではSSHでの取組で探究する力を育成し、この力を各教科で生かすことで、新しい大学入試のありようにしっかりと対応しています。

【理数科】

学問をより深く追求するための創造力・探究心を養い、科学的思考力を持った人間性豊かな人材を育てます。そのために、より幅広く興味と関心を持ち、将来めざす学問について考える機会となるように、講演会や大学・研究施設の見学会、大学の研究室訪問を実施しています。土曜日は課外授業・自主学習を実施しています。また、1・2年生は夏休みに夏期研修、春休みに学習合宿があります。

【普通科】

基礎的な学習をとおして幅広い学力を獲得し、人間性豊かで知性溢れる人材を育てます。全学年にわたり、夏休みや放課後の課外学習などを充実させ、きめ細かい指導を行うことで学力の向上を図っています。多様な学びをベースにして、自己実現を的確に支援するキャリア教育により、夢に向かう目的意識とそれを実現する確かな学力を養います。また、希望者には土曜課外授業を実施しています。

令和5年度 松阪高校（通信制）の特色

1 めざす学校像

○生徒一人ひとりの学びを支援し、生徒・保護者・地域から信頼される通信制高校
<自主自律>

校訓である「自主自律」の精神を持ち、自学自習をとおして、自ら学び、自ら考え、自ら行動できる人を育てます。

<知・徳・体>

校章に象徴される「知・徳・体」の調和のとれた全人的な発達を図り、それぞれの立場で地域社会に貢献できる人を育てます。

<高い志>

心豊かな人間性に立脚した「志」を持ち、高い目標を掲げて意欲的に挑戦する人を育てます。

2 学校の特色（普通科）

「夢に向かって」学びたい人を大切にする学校です。

●松高通信の学べる3つの“でも”

①いつでも学べます

月2回程度、日曜日にスクーリングがあります。スクーリングは勉強だけでなく、ふれあいの場でもあります。スクーリングの他にも、希望があればいつでも登校して質問することができます。電話、メールでも質問が可能です。

②どこでも学べます

自学自習でレポートを作成し、添削指導を受けます。自宅でも仕事の合間でも、時間を見つけて自分のペースで学べます。

③やる気のある人だれでも学べます

学ぶ意欲さえあれば、年齢に関係なく誰でも学べます。世代を超えた仲間と交流することができ、新しい人間関係が生まれます。転入・編入や長期欠席、不登校経験のある方も頑張っています。

●松高通信の主な学校行事

学校行事等への積極的な参加を促して、社会への参画能力の育成をめざすとともに、学校生活の充実を図り、学習意欲の向上に結びつけています。

遠足、体育祭、生活体験発表会、定通交流スポーツ大会、校内文化作品展などがあります。

令和5年度 松阪工業高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 社会人として必要とされる人材となるために、挨拶をはじめとする基本的な生活習慣を身につけ、人権感覚豊かな人間性を磨く学校
- 専門学科における知識、技術の習得に意欲や向上心を持ち、技術者として通用する専門性を養うとともに、地域からの信頼に応える学校
- 文武両道に成果を示すことのできる生き生きとした学校

2 学校の特色（工業化学科、機械科、繊維デザイン科、自動車科、電気工学科 各1学級）

- 明治35（1902）年に、当時、全国で唯一の応用化学専攻の三重県立工業学校として開校して以来、120年を超える歴史ある学校です。
- 創立以来、常に時代に即した工業教育を行い、2万人を超える卒業生が産業界などで活躍しています。

(1) 各科の特色

- 工業化学科・・・化学製品の原理や製造法などを学習するとともに、生活環境を良くするために必要な化学的知識についても学習します。ものづくりコンテスト県大会 化学分析部門 団体の部で、2年連続優勝しています。【県内同系統の学科設置校3校】
- 機械科・・・ものづくりの基礎・基本となる機械加工の技術から、コンピュータによる製図やロボットを中心とした各種自動化システムまで、広範囲な内容を体験的に学習します。二級ボイラー技士や各種三級技能士など多分野の資格を取得しています。
- 繊維デザイン科・繊維素材や染織の知識、造形技術の基礎から様々なデザイン領域まで幅広く学習します。制作活動をとおして発想力、創造力、表現力を磨き、様々な業界で活躍できる人材の育成、県内随一の質の高いデザイン教育を行っています。【県内唯一の学科】
- 自動車科・・・国土交通省の一種認定自動車整備士養成施設の指定を受けており、課程修了者は三級自動車整備士試験において、実務経験および実技試験が免除され、学科試験だけで三級自動車整備士の資格を取得することができます。【県内同学科設置校2校】
- 電気工学科・・・電力の発生から輸送、応用技術や情報技術など幅広い電気・電子工学の分野を基礎から応用まで学習します。学科設置以来、毎年電験三種合格者を出している全国で唯一の学科です。近年は大学卒業レベルといわれる電験二種の合格者も複数出しています。

(2) 卒業生の進路

- 就職・・・卒業生の約70%が就職しています。内約80%が県内に就職しています。近年、求人倍率は10倍以上あります。
- 進学・・・卒業生の約30%が進学しています。電気工学科の令和4年度卒業生は、4名が三重大学工学部に進学しています。繊維デザイン科では、卒業生の約70%が美術系大学等に進学しています。

(3) 部活動（文武両道に成果を示す）

県の強化指定を受けているバレーボール部と弓道部など運動系13部、工業高校ならではのロボット部やソーラーカー部など文科系14部が活躍しています。

令和5年度 松阪工業高校（定時制）の特色

1 めざす学校像

- 生徒一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、社会生活に適応し、個に応じた自己実現を果たすことを支援する学校
- 生徒の相互理解の精神を育み、相手の立場に立って考える人権感覚を養う学校

2 学校の特色（普通科1学級）

- (1) 勉学と仕事等の両立をしやすい環境です。働きながら学べる学校として、生徒が昼間働くことを支援することで、ほぼ全ての生徒が、勉学と仕事等を両立しています。
- (2) 授業は17時30分から20時45分まで（月曜日は21時30分まで）行い、4年間で卒業するプログラムを基本としています。
- (3) 他校の通信制との併修により3年間で卒業することもできます。
- (4) 卒業後は、就職する生徒が多いが、四年制大学に進学する生徒もいます。授業以外の時間で補習を行うなど、個に応じた支援を行っています。
- (5) 生徒の半数以上が外国につながる生徒です。国籍の異なる生徒が、お互いを認め合い、協力しながら一緒に学んでいます。
- (6) 外国人生徒支援員の配置や取り出し授業の実施など、日本語に課題のある生徒に対してきめ細かな指導を行っています。
- (7) 3年と4年では選択科目を開設しており、生徒は興味・関心に応じて学習に取り組んでいます。

本校の名称は工業高校となっていますが、定時制課程には工業学科は設置されておらず、普通科として教育課程を編成しています。中学校卒業と同時に入学する生徒がほとんどですが、編入生や中学卒業後にしばらく期間をおいてから入学する生徒もいます。

在籍者の過半数が外国につながりを持っています。日本での生活期間の短い生徒など、日本語に課題のある生徒も在籍している中で取り出し授業の実施や外国人生徒支援員の配置など、日本語の指導や日本で生活するために必要な社会性を習得するカリキュラムを編成しています。

個別指導の充実・基礎学力の定着より、苦手意識を克服し、主体的に学びに向かう態度を身につけるよう取り組んでいます。

また、コミュニケーション能力の向上、職業選択能力や、勤労観・職業観を持つことができるよう、発達段階に応じたキャリア教育を推進しています。

令和5年度 松阪商業高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

生徒・教職員が「誇り」をもち、保護者・地域から「信頼」される学校

2 学校の特色

- 起業家マインドを持ち、課題に気づき、解決に向けて自ら考え、自発的に働きかける行動力で、卒業後の次のステージでも活躍する生徒の育成をめざします。
- 「自己指導能力」と「気づく力、自分で考える力、行動する力、質問する力、表現して伝える力、ねばり強く取り組む力」の育成を、すべての教育活動でめざします。
- 単位制の商業高校として、きめ細かな教育活動を実施しています。

3 学科の特徴（総合ビジネス科3学級＋国際ビジネス科1学級）

【国際ビジネス科】＝（商業科＋情報教育＋英語教育）× 単位制

商業に関する知識・技術を習得し、グローバル社会での活躍をめざす商業学科簿記や情報処理の検定や国家試験とともに、英検対策講座を受講することで、実用英検の準2級～2級、それ以上のレベルにもチャレンジできます。1級合格生徒も。

【総合ビジネス科】＝（商業科＋情報処理科）× 単位制

商業に関する知識・技術を習得し、地域社会で活躍をめざす商業学科簿記や情報処理の検定や、より高度な国家試験にも挑戦できます。

4 特徴的な学び

- 国際ビジネス科において、外国人生徒等に係る特別枠入学者選抜を実施。必要な生徒には日本語指導も行っています。
- 正解のない課題に対して、教科書の枠にとらわれない問題解決型の学習を行います。ICTを活用して、世の中を知り、思考を深め、周囲と協働しながら、現代社会で生きる力をはぐくむ「ビジネス探究プログラム」を3年間かけて実践します。
 - 1年次：「ビジネス基礎」を探究の手法を用いて学びます。商業のおもしろさを実感しながら、ビジネスの基礎を身につけます。
 - 2年次：半径5mの課題からビジネスプランの作成に挑戦することをとおして、ビジネス社会への問いをたてることを学びます。
 - 3年次：「課題研究」では、自らの問いに基づいて、これまでの商業の学びを生かして探究し、課題解決をめざします。
- 松阪市や観光協会、商工会議所、柳屋奉善やマックスバリュー、VISONといった地域の企業や病院、大原簿記情報医療専門学校等と連携した学びを行っています。
- 台湾新北市立三重高級商工職業学校と姉妹校提携を結んでおり、今年度は、県の海外誘客課と連携した台湾研修と、オーストラリア研修を復活させます。
- SBP活動（ソーシャルビジネスプロジェクト）に参加し、企業のQCサークルとも連携しています。
- 上記の活動が認められ、今年度、三菱みらい育成財団助成事業に採択されました。

令和5年度 飯南高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 変化の大きい社会で、自分らしくたくましく「生きる力」（対話力・追究力・創造力・発信力）を育成する学校
- 高校生が地域に関わり、地域とともに活動する学校

【育みたい生徒像】

- 学習、部活動、学校行事に積極的に取り組み、「生きる力」（対話力・追究力・創造力・発信力）を身につけた生徒
- 地域と連携した活動に積極的に参加し、自分らしさを発揮して地域や周囲の人の役に立てることを自己の喜びと感じられる生徒

2 学校の特色（総合学科2学級）

◎飯南高校は昭和23年に誕生しました。

学校は櫛田川の上流、まわりを緑に囲まれたすばらしい環境の中にあります。杉の木が林立する「並木道」は飯南高校のシンボルです。平成11年に連携型中高一貫教育を導入するとともに、普通科から総合学科に改編しました。令和元年度から3年度まで「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定を受けました。生徒が夢を育み、「好きなこと」を究め、未来を創ることをサポートします。

◎地域と協働し、探究的な学び、キャリア教育を推進しています。

「産業社会と人間（1年次）」、「キャリアデザイン（2年次）」、「いいなんゼミ（3年次、総合的な探究の時間）」を軸に、各系列の学びを生かし、「地域を学び場とした探究活動」を充実させています。地域と連携したキャリア教育を通じて「生きる力」を育みます。

◎生徒一人ひとりを大切にします。

各年次とも2学級定員を3学級に編成し、少人数教育により、一人ひとりにきめ細かなサポートを行っています。また、総合学科の特色を生かし、70あまりの講座を設けることにより、自分の興味・関心に合った学習ができるようになっていきます。さらに、地元の専門家や大学教授など、多くの特別講師が授業を担当しています。いろいろな分野のスペシャリストや地域の方々から学ぶことで、一人ひとりの個性をさらに伸ばすことをめざしています。

総合学科とは、「普通科」と「専門学科」のよいところを併せ持った学科です。

1年次は基礎を幅広く学びながら将来について考え、2年次から自分の学びたい系列に分かれて専門的に学んでいきます。郷土・環境、介護福祉、総合進学、コンピュータの4つの系列を用意し、多様なニーズに対応しています。高校に入ってから自分の将来をじっくり考え、専門的に学びたいという人にピッタリの学科です。決められた科目以外は、幅広い選択科目の中から自分で選んで、好きなことを学べるのが一番の特長です。飯南高校での3年間で、大きく成長できます。一人ひとりのチャレンジを丁寧にサポートします。

また、今年度から新たに進学希望の生徒が主体的に学び、発展的な内容について学びのアドバイスを受けることができる場として「放課後学びの場（塾）」を開始し、学力を向上させることをとおして、進路実現につなげます。

令和5年度 相可高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 生徒の夢をかなえる学校
- 地域と共に歩む学校
- 教職員がやりがいを実感し互いに高めあう学校

2 学校の特色

（普通科2学級＋生産経済科1学級＋環境創造科1学級＋食物調理科1学級）

(1) 4つの学科

<普通科>

単位制、少人数講座、習熟度別授業を取り入れ、併設する専門学科とともに探究し刺激しあう、他校に類を見ない環境のもと、国公立・私立の大学、短期大学、専門学校への進学や就職など、さまざまな進路に対応しています。

<生産経済科>

農産物生産の基礎・基本とその流通、園芸福祉、環境問題を学び、地域農業をはじめとする、地域産業の発展を担う産業人の育成をめざします。

<環境創造科>

生活の基礎を支える「街づくり」と「国土安全」を基本としながら、人々が自然と共生していくための循環型社会の形成を目標に、新たな環境を創造していくことができる技術者を養成します。毎年、多くの生徒が公務員として就職します。

<食物調理科>

調理師コースと製菓コースとがあり、校内での実習の他、国内外における研修やインターンシップなど、数々の経験を重ね、高い技術と意識を併せ持つことで、グローバル、ローカルな場で活躍できるプロフェッショナルをめざします。

(2) キャリア教育、探究学習の充実

- 相可高校では、「総合的な探究の時間」を「ドリーム・チャレンジング・タイム（DCT）」と呼び、1年生全員で学科を越えた少人数グループを作り、課題と向き合って、考えたり調べたりして自分の意見を出し、また、他者の意見を聞くことで出てきた情報を整理し、グループでまとめた意見を発表します。4つの学科の生徒が入り混じっていることで、さまざまな価値観から学ぶことができ、視野が広がります。

探究学習は、各教科の学習の中でも進められますが、普通科では、2，3年生でも引き続き「DCT」を学習し、専門学科では、2年生以降、「課題研究」等の専門科目でそれぞれの学科に応じた専門性を追究し、グローバルやローカルな活動をめざします。

- 通常、高校で出会う大人といえば、ほとんどが教員だと考えられますが、相可高校では、「DCT」学習時の外部講師をはじめ、各学科が連携する地域や企業の方々、出前講座で来校する大学教員、調理クラブの実習施設「まごの店」や製菓コースの販売実習のお客様、など、たくさんの大人と関わることができます。このように、学校中で生きたキャリア教育を日々実践しています。

令和5年度 昴学園高校（全日制）の特色

1 めざす学校像

- 総合学科、全寮制等の特色を生かして以下の人材育成や学校づくりをめざしています。
 - ・卒業後に社会で活躍できるように主体的に行動できる人材の育成
 - ・何事も誠実・意欲的に取り組み、思いやりを持って人と接することができる人材の育成
 - ・地域（ユネスコエコパークである「大台町」）との連携を深め、地域から信頼されるとともに、地域から必要とされる人材の育成

2 学校の特色（総合学科2学級）

(1) 総合学科（単位制、90分授業、少人数制）

1年次は共通の科目を履修し、自分の適性や進路について考えます。2年次以降は5系列に分かれ、興味・関心のあることを学び、進路実現につなげます。

<国際交流系列>

さらに深く学ぶために、大学進学をめざし、将来、地域のリーダーとなり社会で活躍する力を身に付けます。

<総合スポーツ系列>

生涯スポーツにつながるニュースポーツや野外活動等の理論・実践を通じて、知識と技術を身に付け、様々なスポーツの指導者等をめざします。

<美術工芸系列>

美術工芸（絵画・デザイン・立体造形）の基礎学習から、さらに専門的知識や技能を深めます。また、芸術系の大学進学にも対応します。

<生活福祉系列>

福祉全般の知識・技能を学び、高齢者を含めた、誰もが住みやすい社会を創造することができる人材を育成します。

<環境技術系列>

農業、野菜作り、環境に関する学習を行い、環境を大切にして住みやすい社会を形成するために必要な力をつけます。

(2) 生徒寮「きらら」

県内外各地から集まった同世代の若者が集団生活を行うことで、自主性・自律性・協調性などを育みながら個性と能力の伸長を図っています。

(3) 地域みらい留学&地域みらい留学365実施校

都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学した生徒とともに、充実した高校3年間を送ることができます。

(4) 大台町（ユネスコエコパークに認定）との連携

地域とともにある開かれた学校づくりを進めています。

(5) 国際教育

韓国養正高等学校と姉妹提携をしており、授業でハングル語を学ぶこともでき、国際感覚を育てます。

昴学園高校は、「大台町」の豊かな自然のなかで、寮（全寮制、但し大台町・大紀町・多気町の生徒は自宅からの通学も可能）での集団生活と総合学科による少人数教育、さらには地域（大台町）と結びついた活動を通じて、生徒の自主性・自律性・協調性などを育みながら個性と能力を伸ばすことを目標にしています。